

このたびは、ヤマハビオラ/チェロをお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。
優れた性能を十分に発揮させると共に、いつまでも支障なくお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みください。

付属品(セット内容をご確認ください)

ケース、弓、松脂



注意

お取り扱い上の注意

ヤマハビオラ / チェロを安全に永くお使いいただくために

- 物をぶつけたり、落としたりする乱暴な取り扱いはさけてください。
- ビオラ/チェロ本体および弓は、屋内に限定してお使いください。
- 以下の環境は、楽器の性能に悪影響を与えます。十分注意の上、ご使用・ご保管ください。
 - ・直射日光の当たるところ
 - ・温度が特に高い場所、または特に低い場所
 - ・湿度が特に高い場所または低い場所、ホコリや振動の多い場所
- 車の中に長時間放置しないでください。夏期や真冬時の温度下では、ビオラ/チェロ、弓の品質が著しく悪化します。
- 楽器のお手入れの際は、柔らかい布で乾拭きしてください。また、スプレー式の殺虫剤を近くで使わないでください。外装に傷がついたり、変質する恐れがあります。
- この製品は、出荷の際に最適な状態に調整されています。調整に技術が必要とする部分もありますので、調整が必要なときは、なるべくお買い求めのお店にご相談ください。
- 弓は、人や物に接触すると危険な形状をしています。演奏時には、隣の人、物などに当たらないよう、十分なスペースをとってください。また演奏時以外に振り回す、投げるなどの危険行為は絶対にしないでください。
- 深夜の楽器演奏は、他人の迷惑になる場合があります。十分にご注意ください。
- 楽器をケースにかたづけるとき、弓の毛は十分にゆるめて保管してください。



注意

楽器調整時の注意

- 弦の交換や調整の際に、顔を楽器に近づけないようにしてください。不意に弦が切れて目を傷つける場合があります。
- 弦の交換は1本ずつ行ってください。4本とも一度に交換しようとする、駒が倒れたり、テールピースがはずれるなど、思わぬトラブルの原因となります。
- 調弦の際、アジャスターを締めすぎたり緩めすぎたりしないでください。本体を傷つけたり、演奏時の雑音の原因となったりします。

■ 弓について

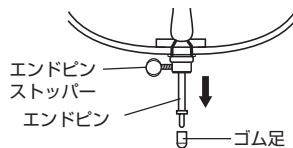
- ・弓は、付属品の松脂を弓毛に塗って使用します。弓全体に平均に程よく塗ってください。
- ・使用しない時は、必ず弓毛の張りをゆるめてください。

ネジ部を回して弓毛の張りを調整する



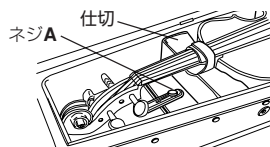
■ エンドピンについて (チェロのみ)

- ・エンドピンの先端は尖っていますので、取り扱いの際は十分注意してください。
- ・演奏中に楽器が落下しないよう、エンドピンストッパーは確実に締めて固定してください。



■ ケースについて (ビオラ: size 15/15.5/16/16.5のみ)

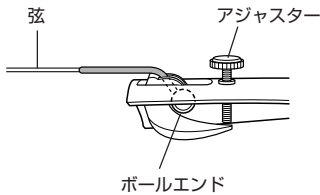
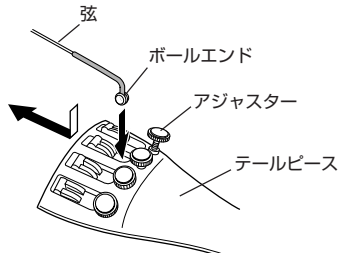
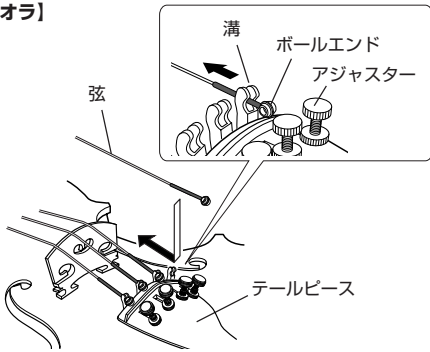
- ・収納するビオラのサイズに合わせて、ネジAをゆるめて仕切位置を調節してください。位置が決まったらネジAをしっかり締めてください。
- ・一度設定したら、仕切位置はむやみに動かさないでください。



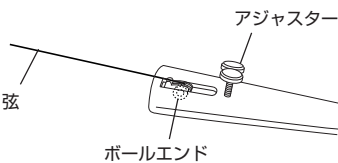
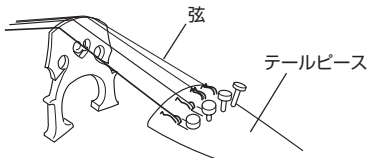
■ テールピースへの弦のセット方法

テールピースのアジャスターの溝に弦のボールエンドがはまるように、弦を通して引っ張ります。

【ビオラ】



【チェロ】

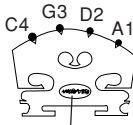


■ 駒のポジションの確認

弦の交換や調弦の際、駒のポジションおよび角度に注意してください。

【ビオラ】

それぞれの弦が駒の溝に収まっていること

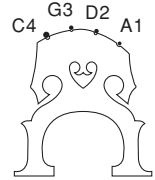


印字されている面がテールピース側

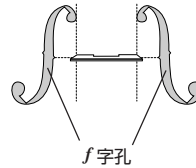
【テールピース側】

【チェロ】

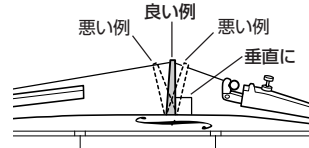
それぞれの弦が駒の溝に収まっていること



【テールピース側】



左右のf字孔の溝を目安に、下図の位置に駒を立てる



駒のテールピース側の面が表板に対して垂直になるように、駒を立てます。

■ 糸巻への弦のセット方法

弦を糸巻の穴に通し、それぞれ下図の方向に糸巻を回して弦を張ります。糸巻は押し込みながら回します。

2巻き内側に巻いてから折り返して巻く

